



J A U W

F U K U O K A

(一社)大学女性協会
福岡支部会報
2025.4.2
発行
第46号

このたびの令和7年2月岩手県・山梨県・長野県での森林火災により被災された方々にお見舞いを申し上げると共に、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表します。

2024年度全国総会・第13回定時会員総会

日時:2024年5月11日(土)、12日(日)

場所:ホテル ルプラ大山(愛知県名古屋市)

2024年度全国大会・第13回定時総会が開催されました。会員となって日も浅いにもかかわらず支部長になったばかりの私としては大学女性協会を理解するには出席するしかないと判断しました。1日目には全国の支部長会議が開催されて夫々の支部の実情や課題を発表しましたが、福岡支部同様に高齢化や会員増が課題であったり、支部独自の活動を展開していたり、かたやかなり活発に活動し会員数も多い支部などがあつたりと、今後の当支部の活動を考えるのに刺激になりました。2日目は久保田さんもご参加で心強かったですが、ただ支部長は席が固定されていて久保田さんとお話しする時間は少なかったです。若手をどうやって取り込むかを模索しながら帰路につきました。

(石井妙子)

2024年度 福岡支部総会報告

日時:2024年5月18日(土)

場所:ホテルオークラ福岡「山里」

出席者:12名(委任状3名)

1. 開会の言葉 顧問:加藤 仁美
2. 支部長挨拶 支部長:萩尾 憲子
3. 秋枝簫子様 104歳ご逝去 黙祷
4. 議事

【報告事項】

- ① 2023年度事業報告 支部長:萩尾 憲子
- ② 2023年度決算報告 会計:桑原 洋子
- ③ 2023年度開会監査報告 会計監査:松藤 泰代

【審議事項】

- ① 役員の承認 支部長:萩尾 憲子
名誉顧問:和栗 方子、青沼 美撫子、西原 そめ子
顧問:加藤 仁美、守山 恵子、萩尾 憲子
支部長:石井 妙子
会計:松藤 泰代
書記・会報 久保田 千景
会報補助:加藤 仁美、道野 佐世
会計監査:桑原 洋子
- ② 2023年度事業計画 久保田 千景



③ 2023 年度予算 会計:松藤 泰代

④ その他:大学女性協会福岡支部組織図 松藤 泰代

5. 写真撮影

名誉顧問:青沼 美撫子より会の益々の発展を希望するとお話を頂き、囲んでの写真撮影を行いました。

6. 食事、懇談会

顧問:和栗 方子

出席者自己紹介を石井妙子新支部長より順番に行い、各自の楽しいご挨拶で盛り上がりました。また、お食事処や福岡のお土産のお勧め等、楽しく教えていただき、笑いの絶えない懇談会でした。

6. 閉会の言葉

会計:桑原 洋子

終了後には、ラインの交換などを行いました。

今年度から石井新支部長を中心に新体制です。皆様、企画を通じて、会を盛り上げましょう。

☆後日 写真係:城崎 由紀より写真が送ってきました。 (松藤 泰代)



2024 年度福岡支部 8月例会(講演会)

日時:2024年8月24日(土)10:30~12:00

場所:高取公民館

講演:パッククッキングをしてみましょう~災害時・高齢者・離乳食~

講師:大学女性協会福岡支部 支部長 石井妙子

主催:大学女性協会福岡支部、高取校区社会福祉協議会



講師は、大学女性協会福岡支部の石井妙子支部長です。今回初の講義と調理実習を高取校区社会福祉協議会の方々と合同で、実施しました。講義は、パッククッキングの特徴やコツなど、スライドを使って説明していただきました。実習のメニューは、白ご飯、さばの味噌煮、サラダチキン、いんげんの胡麻和えの4品です。災害時の調理として役立ちます。

実習では最初に、石井支部長が師範を行い、次にテーブルの班に分かれて実践です。皆さん、楽しそうに真剣に取り組んでいました。ポイントは、食材を入れたビニール袋を真空包装にするところです。その後、お湯を沸かした鍋に入れて茹でる。調理してる間に一旦、席に戻り、石井支部長より高齢者の食事について、「食品の形態」や「ユニバーサルデザインフード」の紹介、「介護食を作るときの切り方」や「作り方のポイント」、「とろみが出る食材の紹介」などの話を伺いました。

その後、試食会を行いました。皆様、「おいしい」「簡単だった」「優しい味付け」「これだったら出来る」などの感想が聞けました。量は、少しずつでしたが、皆さん満足されていました。パッククッキングは、災害時はもちろんの事、離乳食にも男性の一人暮らしの方にもお薦めとのことでした。試食会時には、本日使用した食器についての説明がありました。皆様楽しく、和気藹々とされておりました。片付けも、高取公民館の皆様のご協力のおかげで、早く終わりました。ご協力感謝いたします。

(松藤泰代)



参画ネット講演会

日時:2024年11月17日(日) 13:30~16:00

場所:アミカス4階ホール

講演:若者・女性の声を届けるためにできること

講師:能條桃子さん(一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN 代表理事 / FIFTYS PROJECT 代表)

2019年若い世代の政治参加を促進するNO YOUTH NO JAPANを設立し2022年には政治分野のジェンダーギャップ解消を目指し、20代・30代の地方選挙への立候補を呼びかけ一緒に支援するムーブメントFIFTYS PROJECTをおこない一般社団法人NewSceneを設立と紹介されていた。

予備知識のない私にはこれだけでは、ぴんとこなかったがお話を聞いているうちに2021年2月に東京五輪・パラリンピック組織委員会の会長だった森喜朗元首相が「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」と発言した際に15万筆超の抗議署名を集めた人(活動家)だとわかり納得。

署名活動を始めた当初は、「森喜朗氏が総理大臣までなされていたことも知らなかったんです。」と正直に話される場面もあり若い人らしさ溢れる講演でした。

能條さんは、常々、日本では、政治に私たちの思いが反映されない現状に不満を感じていたという。デンマーク留学の経験からそこでは、若者の投票率が80パーセントを超えていたことに驚き、一方で日本の同世代では20パーセント程と知り愕然とした。

そんな時、デンマークの若い活動家から「政治家を育てるのは、私たち国民なんだよ」といわれ、「自分でアクションを起こさなきゃ、変わらないんだ!」との思いが湧いてきてそれが、NO YOUTH NO JAPANの立ち上げと参議院選挙の投票を呼びかける動機となったと話してくれた。

この講演で、これからの日本を背負う若者がアクションを起こしてくれていることを知り頼もしく思うとともに我々シニア世代も、もっと政治に関心を示さねばと思ったことでした。

(桑原洋子)

2024年度福岡支部1月例会(講演会)

顔の表情解析(AI)を活用したおいしさの研究

日時:2025年1月26日(日)10:30~11:20

場所:警固公民館

講演:顔の表情解析(AI)を活用したおいしさの研究

講師:西九州大学 健康栄養学科 准教授 松藤泰代氏

主催:大学女性協会福岡支部



講師の松藤泰代氏は、管理栄養士として働いた経験を生かして、現在管理栄養士教育に携わっていらっしゃいます。日本給食経営管理学会 評議員としても活躍されておられます。主な研究は、味覚と食行動に関する事、和食の食卓文化、食文化と食育、韓国伝統茶の嗜好、そしてこの度のAIを使用した顔面表情解析によるおいしさに関する事です。

研究の目的は、各種飲み物を味わった時の顔面表情を解析することにより主観的快樂値の予測が、可能かどうかを検証することです。ビデオカメラ、顔面表情分析ソフトを用いて研究が実践されました。基本味「甘味」「塩味」「うま味」「酸味」「苦味」について、被験者の顔面表情を客観的に解析し、主観的快樂値を予測する計算式を導くことです。感情のうち、おいしい時は、ハッピーの値が高く、おいしくない時は嫌悪・悲しみの値が高くなり、顔の表情はあまり変化がないとのことです。性別や年齢等の汎用性についても引き続き研究を重ねられるとのことです。



この度、アイルランドでの国際学会でご発表と共にご滞在先での楽しい話題提供もあり、私たちは学びの深まりと共に海外での逸話も拝聴でき大変充実した日でした。

AIを用いた様々な試みがなされている昨今、おいしさの研究としてAIが用いられることはとても新鮮に感じました。

(久保田千景)

福岡支部 秋のイベント報告

日時:2024年11月10日(日)

なんと楽しい♪

『大人の修学旅行(柿狩りツアー!!)』と、題し、私たち『チーム柿』は石井支部長を筆頭に、グリーンが印象的な松藤号に乗り合わせ、柿狩りツアーに行ってきました。



食いしん坊の私たちですが、柿狩りの前に、『かがしのゴジラ』がいるとの噂を聞きつけ、ちょっと寄り道。かがしのゴジラ?かがしとは『かかし』です。藁で出来た『ゴジラ』です!なんと、ギネス世界記録にも認定された『かがしのゴジラ』を見て、みんな大興奮!!ものすごく大きくて、ものすごく凄かったです!



ゴジラを見てテンションも上がり、いよいよ柿狩り。石井支部長が懇意にされている『高山果樹園』に到着すると、盛り沢山の柿の試食と高山さんの軽快なトークに

魅力され、一瞬、柿を狩るのを忘れるほど(笑)

柿は種類も豊富で、なんと言っても味が美味しい!!肥料が違うようで、納得の美味しさです。柿も沢山狩り、お友達にも送り、お土産まで頂き、大満足の『チーム柿』です。

さてさて、食いしん坊の私たちの修学旅行はまだまだ終わりません。柿狩りを終えるところでお昼。これまた、石井支部長が予約をしてくださった『OKUMURA-TEI』へ。古民家を改装された店内は、とてもオシャレでクリスマスの装い。店内にはギャラリーが併設され、アップなどがあり、お食事とは別に楽しみが沢山。みなさアップなどを買い求められていました。私も幸先が良いように、蓮根の箸置きを買いました。ランチはコースになっており、ボリュームたっぷり!!大満足でした。

旅はまだまだ続き、最後は道の駅へ。松藤さんお薦めの『豆腐まんじゅう』をいただきながら、帰路へ。

ステキな田舎を満喫した一日。ずっと笑っぱなしの『大人の修学旅行』でした。ああ、楽しかった♪また、行きたいです。



(道野)

大学女性協会福岡支部推薦の国内奨学生

大学女性協会は、「よりよい社会をつくりたい」その実現のために「女性の高等教育の向上」、「男女共同参画社会の推進」、「国際協力と世界平和」を目指し、各委員会では様々な活動をしています。その中の一つに国内奨学生贈呈があります。

奨学生として当支部が推薦した九州大学大学院 人文科学府 言語・文学専攻博士後期課程 3年の臼井悠香

さんが「ホームズ奨学生(一般奨学生)」に選ばれ、1月11日に奨学金の贈呈が行われました。標題は、「フェイズ理論に基づく移動に関する通言語的研究」です。

ホームズ奨学生は、当協会の設立に尽力されたルル・ホームズ博士の功績を記念して、一般奨学生及び社会福祉奨学生の中から、女性、教育、国際関係分野の研究を行う学生1名を選定するものです。当支部から推薦した学生さんが奨学生に選出されたことは大変喜ばしく思います。

特別寄稿

「今を生きる」

「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」シャナリ、シャナリ。

番茶も出花のキラキラした一時期が私にもありました。

所が米寿を迎えた今。

「立てばフラフラ、座ればペタン。歩く姿はヨーロヨロ」オットット。となり果てました。

目はショボショボ、耳は補聴器のお世話になり、部分いればの助けを借りて嘸む事が出来ている状態です。

自分ではまだクルクルパーになっていない積りでも、クルクルまで来ているかもしれません。

でも、でも、全てを受け入れ、明るく、楽しく生きる術だけはしっかり身に付けていると自負しています。

18歳の時、私はカトリックの洗礼を受けました。

爾来70年、曲がりなりにも主に従って、主の道を歩んで来ました。

苦しい時も、悲しい時も、そして喜びの時も、主がいつも共に居て下さる事を確信しています。

これは大きなお恵みで、只々感謝です。

「3尾の目刺し」

昭和20年10月27日、釜山から出航し、日本の博多港に向かう引揚船宗像丸に、私は祖父母と共に、乗船していた。

宗像丸という名前は、立派だが、実は石炭運搬船だ。石炭の代わりに詰め込まれたのは、私たち引き上げ者たちだった。石炭を投げ入れる為の開口部があり、明かり採りと換気の役目をしていた。

当時、私は10歳、穴倉にジツとしていることは出来ず、デッキに昇り、果てしない海を眺めて退屈を、紛らせていた。

船倉に戻ろうとしてうろうろしていたら、開けっ放しの部屋の奥から、笑い声が聞こえてきた。

恐る恐る覗いて見ると、5、6人の船員さんたちがお昼の食事中だった。手招きされ、中に入った。

「食べな。」

2尾の目刺しの載った小皿がテーブルに置かれていた。

久しくお目にかからないご馳走で、喉から手、でも、と思い直した。おじいちゃま、おばあちゃまに持って帰ろう。

手を出そうとしない私に、

「嫌いかい？」

「ううん、おじいちゃまとおばあちゃまに食べてもらう」

すると、一尾を加え、紙に包んで手渡された。

「ありがとう、ありがとう」

仕切りの無い空間で、人目を憚り乍ら、配給のおにぎり2個とたくわん2切れと、交互に口に入れた目刺しの味は未だにわすれられない。

「こつこつ、骨折」

つらつらと記憶を辿って見ると、10歳から始まり、77年間に15回の骨折をやらかしている事実が判明。改めて驚いている。

自慢する事でも無いのは百も招致で親しい友人たちに告白すると、

「信じられない」

「よくまあ大事にならずに」

「貴女は度毎に復活するからすごいよね」

「ギネスブックに申請したら」

と、反応はさまざま。

左肘、左手首、左踵、左肋骨、右手首、右中指、右足小指側甲、右大腿骨、右股関節、胸椎 11 番、12 番、腰椎 1 番、2 番、3 番、4 番、都合15か所。

交通事故や高所からの墜落で、一度に何か所も折れたというのでは無く、何年置きかに単独不具合ばかりである。

自分ではまあまあお淑やかにいる積りでも、おっちょこちよいの誇りは甘んじて受けるべきかも……

ここまでの寿命を頂けたというのは、年々進歩する医学のお陰に加え、私が清明の強さに恵まれているという事にもなるのだろうか。

「それにしても、私の人生はとことん、骨の折れる人生と思う。」

この発言に対して、

「座布団 3 枚」

の一声。

「たった 3 枚？」と返すと

「もとい、座布団 15 枚」

笑いの渦に包まれた。

(枅谷紀子)

(一社) 大学女性協会 (JAUW : Japanese Association of University Women)

1946 年に創設され、1954 年に国際大学女性連盟 (IFUW : 1919 年創立) に加盟。

2012 年に一般社団法人となり、IFUW と協働しながら女性の地位向上を目指す、公益活動を行う非政府組織 (NGO : Non-Government Organization) です。奨学金事業、女性リーダーの育成、国内外の諸問題に対する唱道活動など多様な事業を展開しています。

Web ページ : <http://www.jauw.org/>

会費

入会金 1,000 円 (正会員のみ)

年会費 正会員 7,000 円 (IFUW 年会費を含む)

賛助会員 6,000 円



福岡支部は、1947 年に設立され、支部会費は 2,000 円です。

国際大学女性連盟 (IFUW : International Federation of University Women)

世界 61 カ国の大学卒業女性による 国際非営利、非政府団体です。

なお、2015 年 4 月より GWI (Graduate Women International) に名称変更しました。

本部はジュネーブにおかれ、3 年ごとに加盟国各国回り持ちで総会が開かれます。

以下の目的を達成するために、各国でさまざまな状況に応じて活発な活動を展開しています。また、国連諸機関に代表チームを派遣し、世界の重要な問題に対して直接発言をしています。

目的

1. 女性の生涯にわたる教育を推進する
2. 国際協力、友情、平和と人権を推進する
3. 女性の地位の向上を擁護し、支持する
4. 公的および私的な生活でのリーダーシップと意思決定において、女性とその知識と技術を活用することを奨励する

